

## 新規開講

# 2019年度ガバナンス事務局フォーラム

《今年度統括テーマ》

## 【日本企業ガバナンスの現況と課題そして変革のシナリオ】

**期 間** 2019年4月～2020年3月(毎月1回全11回)18:30～20:30  
**会 場** 経営研究所 会議室  
**定 員** 20社(年度途中のご参加も可能です)  
**年会費** 1社300,000円(経営研究所維持会員は10%割引、分納可)

### 【全体監修】

**富山 和彦** (株式会社経営共創基盤代表取締役CEO/  
公益社団法人経済同友会政策審議会委員長)

### 【コーディネータ】

**奥村 昭博** (慶應義塾大学名誉教授/静岡県立大学副学長)  
**川本 裕子** (早稲田大学大学院経営管理研究科ビジネススクール教授)  
**内野 崇** (学習院大学名誉教授)

一般社団法人 経営研究所

### 【2019年度 ガバナンス事務局フォーラムのご案内】

国際政治の激変、経営のグローバル化、IT革命の進展、技術進歩のスピード加速、市場の多様性と複雑性、そしてリスクの増大等、今ほど、経営(者)の質、経営意思決定の正否、経営の仕組みが問われる時代はない。本フォーラムでは、我が国の企業ガバナンスの現状と課題、これからのガバナンスのあり方—取締役会の機能、委員会等を含めた諸会議の運営、ステークホルダーとの関係、人事・報酬の決定、情報開示の方針、経営チェック体制の整備等—について、基本的な論点整理を行い、具体的な実践のためのガイドラインの提示をめざす。また参加メンバー間の意見交換と情報共有の場としたい。

主たる対象者は、トップマネジメント(取締役会、常務会、戦略経営会議等の経営会議、また、監査役会設置会社、指名委員会等設置会社、監査等委員会設置会社、経営諮問委員会等)を担う“担当事務局”—例えば、社長室、役員室、秘書室、戦略企画室、人事部、総務部等—の責任者又はそれに続く次世代の皆様をコアメンバーとする。

毎回、貴重なご提言を導き糸に、参加企業の皆様とのディスカッションを通じて、今後のガバナンスのあり方、トップマネジメント体制のあり方を問い直し、各社にふさわしいガバナンス変革の方向とシナリオを構想する『場の構築』をめざしたい。それは一方で改正ガバナンスコードの要請たる、“トップマネジメントのより一層の戦力化と充実”に込めていく『場作り』につながる。多くの企業の関係部門の皆様の御参加を期待したい。

## 【2019年度 研究会年間予定】

(原則第2水曜日、8月休会 18:30～20:30)

第1回	4月10日(水)	「開講提言Ⅰ—日本型ガバナンスの在り方を巡って」 奥村 昭博(コーディネータ/慶應義塾大学名誉教授 /静岡県立大学副学長)
第2回	5月15日(水)	「開講提言Ⅱ—企業経営とガバナンスの本質とそのあり方を問う」(仮) 富山 和彦(株式会社経営共創基盤代表取締役CEO)
第3回	6月12日(水)	「開講提言Ⅲ—企業ガバナンスの現実と課題」(仮) 川本 裕子(コーディネータ/早稲田大学大学院 経営管理研究科ビジネススクール教授)
第4回	7月10日(水)	「オムロンのコーポレート・ガバナンスの特徴 ～自律を主とした、自律・他律の絶妙なバランスを目指して～」 安藤 聡 氏(オムロン株式会社取締役)
第5回	9月10日(火) 曜日変更 合同研究会	「これからの企業経営のあり方を語る」(仮) 小林 喜光 氏(株式会社三菱ケミカルホールディングス取締役会長)
第6回	10月9日(水)	「経営者報酬ガバナンスの進化に向けて」 内ヶ崎 茂 氏(三菱UFJ信託銀行株式会社 HR戦略コンサルティング室長/プリンシパル)
第7回	11月13日(水)	「危機管理の実務」 國廣 正 氏(国広総合法律事務所 弁護士)
第8回	12月11日(水)	「エーザイのガバナンスについて」 岡田 安史 氏(エーザイ株式会社代表執行役 COO)
第9回	1月8日(水)	「会社法・CGコードをふまえたガバナンス再興戦略」 松山 遙 氏 (弁護士/日比谷パーク法律事務所パートナー)
第10回	2月12日(水)	「コーポレート・ガバナンスの実践」(仮) 松田 千恵子 氏(首都大学東京大学院教授)
第11回	3月11日(水)	「総括と参加メンバーとの質疑応答」(仮) 富山 和彦(株式会社経営共創基盤代表取締役 CEO)

※ テーマは変更になる場合がございます。

### 【全体監修】

#### 富山 和彦

株式会社経営共創基盤代表取締役CEO・公益社団法人経済同友会政策審議会委員長。

<主な著書>『挫折力』、『会社は頭から腐る』、『カイシャ維新 変革期の資本主義の教科書』、『結果を出すリーダーはみな非情である』、『IGPI流 経営分析のリアル・ノウハウ』、『IGPI流 セルフマネジメントのリアル・ノウハウ』、『稼ぐ力を取り戻せ！日本のモノづくり復活の処方箋』、『なぜローカル経済から日本は甦るのか GとLの経済成長戦略』、『選択と捨象』、『地方消滅 創生戦略篇』、『決定版これがガバナンス経営だ！』、『IGPI流ローカル企業復活のリアル・ノウハウ』、『有名企業からの脱出～あなたの仕事人生が手遅れになる前に』、『AI経営で会社は甦る』など。

## 【コーディネータ】

### 奥村 昭博

慶應義塾大学名誉教授。静岡県立大学副学長、特任教授。ノースウェスタン大学経営大学院ケロッグスクールMBA取得、慶應義塾大学商学研究科後期博士課程満期退学。専攻は経営戦略、アントレプレナーシップ、ファミリービジネス。

<主な著書>『日本のトップマネジメント』『日米企業の経営比較』『経営戦略』他多数

### 川本 裕子

早稲田大学大学院経営管理研究科ビジネススクール教授。東京大学文学部社会心理学科卒業。オックスフォード大学大学院開発経済学修士課程修了。東京銀行、マッキンゼー&カンパニー東京支社、パリ勤務等を経て現職。これまでに金融審議会委員、金融庁顧問(金融タスクフォースメンバー)、総務庁参与、経済財政諮問会議専門委員、などの政府委員等を務めている。

<主な著書>『金融機関マネジメント』『中国ビジネスを理解する』『日本の成長戦略』『金融サービスのイノベーションと倫理』他

### 内野 崇

東京大学大学院経済学研究科博士課程を経て、現在、学習院大学名誉教授。国内企業を中心に数多くのコンサルティング、研修・教育に従事。日本生産性本部経営アカデミー・トップマネジメントコース他のコーディネータ。学校法人学習院企画部長として学校改革に携わる。

<主な著書>『新版 変革のマネジメント』(生産性出版)、『企業文化・業績と強い関係』(共著論文、日本経済新聞)、『組織の経時的分析』(経済論集)、『戦略論と組織論の融合をめざして』(経済研究)『戦略型経営』(共訳、ダイヤモンド社)ほか多数。

## 【経営研究所とは】

経営研究所は昭和21年に故高宮晋先生(東大、一橋大、上智大名誉教授)によって学者と企業が共同で近代経営のあり方を研究すべく設立された会員制の非営利団体です。当時は他に類似の機関がなかったために、「経営研究所」がそのまま固有名詞となり、今日に至っております。

1996年より故土屋守章(東京大学名誉教授)が、さらに2010年6月より寺本義也(前早稲田大学大学院教授)が引き継ぎ、2013年9月まで丸の内地区を拠点に経営学及び関連学問の研究関心等、大学と企業の実務的課題を結びつける役割をはたしてまいりました。

創立以来70有余年、着実に発展の地歩を固め今日に至るわけではありますが、2013年10月をもって改めて21世紀にふさわしい研究所としての基盤整備に着手し、「一般社団法人経営研究所」として再スタート致しました。

『知と実践の交流の場として、また智の発信基地』としての役割を担うなかで得た成果を、広く企業の実務において活かしていただくとともに、産業界及び学会の発展に資することを狙いとしています。

## 【経営研究所の活動と特色】

～わが国を代表する産・官・学の各界の“知と人”を結集した『研究会』が活動のメイン！～

経営研究所は、経営の根幹にかかわるテーマごとに研究会を設け、各研究会の活動を経営研究所のコアにしています。各研究会にあっては、講義形式、セミナー形式をとらず、実務者、研究者等を中心に参加メンバーの知的格闘技を重視し、毎回、わが国を代表する多彩なゲストを招聘し、ゲストのプレゼンテーションにつづいて、参加者(ビジネスパーソンと研究者が中心)との間で、各回1時間ないし1時間半にわたって議論を重ねます。

単なる勉強の場にとどまることなく、その論議を通じて問題を深く掘り下げ、また参加者が相互に切磋琢磨するとともに、実務上、研究上の新しい着想と、知ならびに実践への指針を得ることをめざします。各研究会は、上記の研究会活動を通じて、それぞれに質の高い提言と討論がなされるのみならず、しっかりしたドキュメントを提供します。

**【参加申込方法】**

**年会費** 1社 300,000円(経営研究所維持会員は10%割引、分納可)  
 \*年度途中のご参加も可能です。尚、年会費はお申込み頂いた月より1年間となります。  
 次年度より自動更新となります。

**申込方法** 所定申込書に必要事項をご記入の上、メールもしくはFAXでご送付下さい。  
 参加は会社単位で、1社3名の会員登録、ご出席が可能です。

**連絡先** 一般社団法人経営研究所 事務局  
 〒100-0005東京都千代田区丸の内2-5-2 三菱ビルB1F  
 TEL:03-5220-2881 / FAX:03-3217-0208  
 E-mail:[keieikenkyusho@keieik.or.jp](mailto:keieikenkyusho@keieik.or.jp) URL:<http://www.keieik.or.jp>

**会場案内図**



**【三菱ビルへの行き方】**

- JR  
 「東京駅」(丸の内南口).....徒歩約3分  
 京葉線「東京駅」10番出口より直結
- 地下鉄  
 千代田線「二重橋前駅」4番出口.....徒歩約2分  
 丸の内線「東京駅」地下道経由.....徒歩約3分  
 都営三田線「大手町駅」D1出口.....徒歩約4分  
 東西線「大手町駅」B1出口.....徒歩約6分

**2019年度  
 ガバナンス事務局フォーラム 参加申込書**

年 月 日

会社名

所在地 〒

	ふりがな <b>登録者氏名</b>	TEL E-mail
	所属部署および役職名	
	ふりがな <b>登録者氏名</b>	TEL E-mail
	所属部署および役職名	
	ふりがな <b>登録者氏名</b>	TEL E-mail
	所属部署および役職名	

↑ ※請求書送付先は、こちらに丸印をつけて下さい。